三、青年運動聯盟は悪魔の根據を徹底的に撲滅を期す

大正十三年六月十五日

青年運動聯盟

宣言

我等青年が今一に宣言せんとするは此の青年運動聯盟發起の理由である。我等が團体を發起したのは一時の感情によるものではなく、偶然の刺激によるものでもない。我等は又我等人類の求むる所は決して僅かに生存のみではない。我等は智識を求め、善を楽しみ、美を愛する精神文化の發揮展し之を享楽し創造することを要求する。然るに現在の社会は如何。文化の叫びは甚だ高い。そしてそれは無産青年者と何の関係があるか。我等は文明を知る機会は甚だ少ない。ただ芸術は何人にでも享有は何人ぞ。現在の享有は有産階級に独占せられて居る。我等は精神的の畸形児である。我等は起て抗争し文化の創造と文化の機会を享楽す為し服従せなければならぬ。又我等無産青年は従来無形の鉄鎖をもって自由の社会建設に努力せんことを期す

大正十三年六月十五日

青年運動聯盟